

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	子どもの医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	405
担 当 教 員	糸賀 亜美	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として障害児施設のリハビリテーションの実務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
子どもの成長と発達と特徴的な疾患を学び成人や高齢者との違いを知り、将来現場で関わる子どもの特徴や疾患を予測できることを目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
コメディカルのための専門基礎分野テキスト 小児科学 中外医学社 配布資料						
《授業外における学習方法》						
講義の復習と成人の身体のしくみを復習しておくことで、子どもとの比較ができるようになる						
《履修に当たっての留意点》						
各現場において様々な年代の方へ関わる為、子どもの特徴を理解しておくことは必要になる。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義を 通じての 到達目標	子どもの成長と発達、分類と発達課題を学ぶ		配布資料	特になし	
	各コマに おける 授業予定	成長と発達				
第2回	講義を 通じての 到達目標	子どもの栄養の意義と特徴、所要量、栄養状態の評価を学ぶ		配布資料	前回の講義について理解していること	
	各コマに おける 授業予定	子どもの栄養				
第3回	講義を 通じての 到達目標	小児保健の定義、疾病予防、社会変化と取り巻く環境		配布資料	前回の講義について理解していること	
	各コマに おける 授業予定	小児保健				
第4回	講義を 通じての 到達目標	先天異常の定義と分類、発生頻度、症状等を学ぶ		配布資料	前回の講義について理解していること	
	各コマに おける 授業予定	先天異常				
第5回	講義を 通じての 到達目標	新生児の分類、異常兆候、出生に伴う異常を学ぶ		配布資料	前回の講義について理解していること	
	各コマに おける 授業予定	新生児				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝、子どもの代謝特性を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	栄養と代謝疾患		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの分泌調整、成長発達とホルモン、検査を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	内分泌疾患		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの呼吸器、症状、検査、治療について学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	呼吸器疾患		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの循環器、症状、治療を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	循環器疾患		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの消化器、症状、診断、治療を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	消化器疾患		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腎機能の発達、症状、診断、治療を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	腎・泌尿器疾患		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	造血系の発達、小児がんの疫学・診断・治療を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	血液・造血器疾患、腫瘍性疾患		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新生児期、乳児期以降の免疫について学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	免疫・アレルギー疾患		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの感染症の特徴、診断、予防、関連法規について学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	感染症・寄生虫疾患を学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの発達、症状、診断・検査、治療を学ぶ	配布資料	前回の講義について理解していること
		各コマにおける授業予定	神経・筋疾患、精神医学的疾患		